

Y Sアリーナで光星体育祭

【八戸】八戸市の八戸学院光星高校は17日、同市のY Sアリーナ八戸と同市体育館で体育祭「光星（キラ）リンピック」を開いた。全校生徒約820人



がクラス対抗で球技やeスポーツの試合を行い、熱戦を展開した。

同校体育祭は例年、系列の八戸学院大キャンパス内の施設を会場としていた。今年は、昨年来のコロナ禍で学校行事が相次いで中止となった3年生の思い出づくりと、市内公共施設の積極的活用を目的に会場を変更した。同アリーナ全体を学校単位で借り上げての行事開催は、同校が初めてという。

同アリーナのリンク中地ではバレーボール、サッカーが行われ、写真、得点が決まるたびに大きな歓声が上がった。リンクではスケートを楽しむ大勢の生徒の姿が見られた。

中野渡彩さん（3年）は「コロナ下で盛大に体育祭ができてうれしい。Y Sアリーナで一番最初に体育祭を開いた学校の生徒というのも思い出になる。校長先生にありがとうと言いたい」と笑顔。中村良寛校長は「生徒たちが大喜びしている姿を見て、ここで体育祭をやってよかったと思う」と語った。

（千葉真由美）